

# 研究集会「能楽資料研究の可能性」

本研究集会は、「能楽の国際・学際的研究拠点」第一期におこなった共同研究のうち、テーマ研究Ⅰ「能楽研究所所蔵資料に基づく文献学的・国語学的研究」の総括として、能楽資料研究のさまざまな成果を発表するものである。能楽資料研究にはどのような可能性があるのか。日本語学・仏教学・版本書誌学・歴史学など、従来の能楽研究の枠組みを超えた幅広いアプローチに基づく最新の取り組みを紹介し、能楽資料研究の今後の行方を展望する。

《日時》 2018年10月21日（日）  
13：00～17：15（開場12：30）

《会場》 法政大学市ヶ谷キャンパス  
ボアソナードタワー26階 スカイホール

- |             |   |
|-------------|---|
| 13：00～14：00 | 「江戸時代の能役者の履歴書を読む<br>—『近世諸藩能役者由緒書集成』の刊行に向けて—」<br>宮本圭造（法政大学能楽研究所教授） |
| 14：00～15：00 | 「江戸時代初期出版史の中の謡本の出版<br>—古活字玉屋謡本の表紙裏文書を通して—」<br>落合博志（国文学研究資料館教授）    |
| 15：15～16：15 | 「能作品の仏教語句を考える」<br>高橋悠介（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫准教授）                        |
| 16：15～17：15 | 「能楽伝書類の国語学的研究 —規範と記述の問題—」<br>豊島正之（上智大学教授）                         |

**\* 入場無料・事前申込不要 \***

◆主催／問い合わせ◆

法政大学能楽研究所「能楽の国際・学際的研究拠点」

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL 03 (3264) 9815 FAX 03 (3264) 9607